

い

編集発行：池田市議会  
住所：大阪府  
池田市城南  
1丁目1番1号  
郵便番号：563-8666  
TEL：072-752-1111  
FAX：072-753-5414  
<http://www.city.ikeda.osaka.jp/>

いけだ  
No.157  
だ

いけだ市議会だより

平成30年(2018年)1月1日



謹賀新年

新年のごあいさつ・・・ 2

議長・副議長、各議員団

委員会レポート・・・ 4

平成28年度 各会計決算審査

やまばと・・・ 6

いけだ市議会だよりは再生紙を使用しています。



# 謹賀新年



議長  
山田 正司



副議長  
白石 啓子



新年あけましておめでとございます。  
市民の皆様には、穏やかな新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。  
昨年、7月の九州北部豪雨など、全国各地で大規模な自然災害が発生し、甚大な被害を及ぼしました。本市においても、10月に台風21号と22号が続いて接近し、自然災害に対する防災・減災対策の大切さを再認識した1年でもありました。改めまして、被災されました皆様に心からお見舞い申し上げます。

さて、我が国の経済状況に目を向けますと、雇用・所得環境は改善してきており、先行きについても緩やかに回復していくことが期待されるものの、海外経済の不確実性や金融資本市場の変動の影響等の注視が必要であると言われており、個人消費の伸びに力強さを欠いている中で、経済の好循環をより確かなものとするのが求められています。

一方、本市の財政状況は平成28年度一般会計決算において、16年連続の黒字決算となりましたが、市税収入は、前年度を上回ったものの大幅な回復は期待できず、社会保障関係費の増加に加え、クリーンセンターの基幹改良や、学校給食センター、くすのき学園の建設など大規模な事業を控えており、依然として厳しい財政状況が続くものと見込まれます。

市議会といたしましては、山積する課題に対して、これまで同様市民の皆様を第一に考え、10万池田市民の立場で十分な議論を行いながら、議決機関としての権能を最大限に発揮してまいりたいと考えております。

市民の皆様におかれましては、市議会に対しより一層のご支援、ご協力を賜りますようお願いいたしますとともに、本年も皆様にとりまして、幸多い年となりますよう祈念いたしまして、新年の挨拶いたします。

## 自民同友会議員団

新年あけましておめでとございます。  
市民の皆様には輝かしい新年をご家族お揃いでお迎えのこととお慶び申し上げます。

本年も昨年以上に市民ニーズや時代に即した施策、市民の立場に立った行政改革推進、災害に強いまち池田をめざして、初心を忘れず頑張ります。なお一層のご支援・ご指導をいただきますようお願い申し上げます。

## 公明党議員団

皆様お元気で新年をお迎えのことと存じます。

本年は、診療・介護報酬の同時改定や、国民健康保険の広域化など、大きな制度改革が重なる年です。私たち公明党議員は、誰もが住みなれた地域で切れ目のないサービスを受けられる制度の構築をめざし、取り組んでまいります。



荒木 眞澄



馬坂 哲平



多田 隆一



浜地慎一郎



細井 馨



木下 克重



小林 義典





## 市民クラブ議員団

謹んで新年の

お慶びを申し上げます。

旧年中、市民の皆様におかれましては、我が市民クラブ議員団の活動に対し、ご支援とご理解を賜り誠にありがとうございます。

当選後3年が経過し、最終年度に入っております。超少子高齢社会を迎える中で、地域分権、地域福祉、社会保障などよりよいまちづくりをめざし、さまざまな提言をまいりました。今年はいそいそと頑張っております。今年はいそいそと頑張っております。今年はいそいそと頑張っております。



渡邊 千芳



山田 正司



川西 二郎



三宅 正起



中田 正紀

## 日本共産党議員団

新春のお慶びを申し上げます。

市民の皆様にはつつがなく新年をお迎えのことと存じます。

格差と貧困が広がる今こそ、憲法が暮らしに生きる市政が求められます。誰もが平和で幸せに暮らせるよう、皆様の声を届け、その実現のために一緒に頑張ります。本年もよろしくお願いたします。



藤原美知子



白石 啓子



小林 吉三

## 大阪維新の会池田議員団

あけましておめでとございます。新年が市民の皆様方にとって、実り多き年となりますよう心より祈念いたします。本年度もますますのご支援、ご鞭撻を賜りますよう心よりお願い申し上げます。

## 民社クラブ議員団

健やかに新年をお迎えのこととお喜び申し上げます。

私どもは安全・忠誠・献身で引き続き市政の発展に尽力します。今年一年の皆様のご健勝、ご多幸を祈念申し上げます。



富田 裕樹



石田 隆史



前田 敏



内藤 勝

## 自由クラブ議員団

新年あけまして

おめでとございます。

本年も中長期的な視点に立ち課題に取り組んでまいります。皆様にとりまして幸多い年となりますようにご祈念申し上げます。



西垣 智



倉田 晃

議員の年賀状・暑中見舞い・寄付行為は、法律で禁止されています。また、祝電・弔電についても、申し合わせにより自粛しています。市民の皆様のご理解とご協力をお願いいたします。



**平成28年度各会計決算審査**  
9月定例会で常任委員会に審査付託した平成28年度の各会計決算について、議会閉会中に各委員会を開催し、審査しました。  
12月7日の本会議で、各委員長が審査の結果報告を行い、それぞれ委員長報告通り認定しました。  
各委員会での審査の主な内容は、次のとおりです。

## 総務委員会

10月27日  
開催

**財政状況を鑑みるとサービスの維持は困難では**  
〈一般会計〉

**問** 本市の市政運営は、みなおし'97に始まる行財政改革の取り組みにより、市民サービスを低下させることなく、現在に至っていると考えますが、今後の財政状況を鑑みると、本市が将来にわたり、高水準の市民サービスを提供していくことは、困難ではないかと考えるが、見解を問う。

**サービスが低下しないよう全職員をあげて努力**

**答** 市政運営をいかに行っていくかということは、我々の使命であり、これまでから行財政改革により、職員数の削減や、アウトソーシングなどを行ってきた。

今後は、新学校給食センターの建設などハード事業に莫大な費用が必要となるが、スクラップ・アンド・ビルドを徹底し、経常収支比率や財政調整基金等のバランスを図りながら、市民サービスが低下することがないように全職員をあげて努力していきたいと考えている。

**市営葬儀の利便性を向上させるべきでは**  
〈一般会計〉

**問** 本市の市営葬儀は、低廉かつ厳かで、市民の評価も非常に高いが、近年、民間事業者の進出により、市営葬儀の利用件数が減少している。

また、本市の葬祭場と火葬場は隣接しており、出棺の際は、徒歩での移動となるが、市民からは、雨天時の移動が不便だという意見を聞く。

今後は、民間事業者との競争の中で、各施設をつなぐ屋根つきの通路を設置するなど市営葬儀をさらに利便性の高いものにする必要があると考えるが、見解を問う。

**老朽化した備品の入れ替え等を検討**

**答** 指摘のとおり、雨天時には、不便な状況があることは認識している。

今後の課題として、駐車場を含む敷地内の通路等の整備や、老朽化した備品の入れかえ等もあわせて検討したい。



## 文教病院委員会

10月24日  
開催

**病院機能評価を受けるメリットと条件は**  
〈病院事業会計〉

**問** 市立池田病院は病院機能評価の認定を受けているが、その認定を受けるメリットと条件について問う。

**信頼性向上などがメリット 運営管理や医療が評価対象**

**答** 病院機能評価とは、病院が組織的に医療を提供するための基本的な活動が適切に実施されているかを評価する仕組みであり、所定の評価項目に沿って、一定の基準を満たした病院に認定が与えられるものである。

認定を受けるメリットとしては、医療の質とサービスの改善に努めている病院として、患者の信頼性を向上させることができる点、院内での認定証の掲示や広告等への記載が認められる点などがある。

評価項目としては、患者中心の医療の推進や良質な医療の実践ができていくかなど、四つの評価対象領域があり、これらを用いて病院組織全体の運営管理や医療について評価されている。

ふくまる はばたき塾の  
成果と現状は

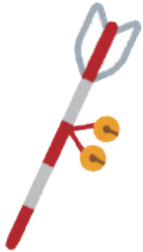
〈一般会計〉

**問** 地域学習教室「池田ふくまるはばたき塾」は、「教育日本一のまち池田」にとって必要な事業だと思っが、平成28年度の成果と現状について問う。

287名の中学生が参加  
市内全体の学力が向上

**答** 平成28年度は本市中学生の11・4%に当たる287名が参加し、成果としては、以前より家庭学習の時間がふえたり、授業内容がわかるようになっていたりことや、全国学力・学習状況調査における本市中学生の平均正答率が、特に数学において上昇傾向であり、市内全体の学力向上につながっていると考えている。

平成29年度は入塾時に本人や保護者と面談を実施し、学習意欲や学習計画を確認したことにより、多くの生徒が目的意識を持って入塾しており、平均参加率は平成28年度よりも約15%上昇し、91・2%となっている。



厚生委員会

10月23日  
開催

累積赤字の解消に向けた  
今後の計画は

〈国民健康保険特別会計〉

**問** 歳出における繰上充用金が平成27年度に比べ若干減少しているものの、実質的には累積赤字である。今後の国保の広域化に備えるためにも、この繰上充用の解消というものが非常に大きな課題となると考えるが、本決算において減少した原因及び今後の計画について問う。

平成33年度をめどに  
累積赤字の解消をめざす

**答** 平成27年度は若干の単年度赤字となったため、平成28年度の繰上充用金が減少している。さらに平成28年度についても1億2千万円ほどの単年度赤字となったが、これは、保険給付費が当初の予想ほど伸びなかったことが一番の原因と捉えている。また、平成29年度については、滞納繰越分の保険料の収納のうち、5千万円を累積赤字の解消に充て、加えて、滞納繰越分の収納額をさらに増加させることによって、合計で累積赤字を7千5百万円程度減少させたい

と考えている。平成33年度をめどに累積赤字の解消に向けて取り組んでいるが、広域化後は、赤字解消の手だてが少なくなるため、可能な限り早く減少させていきたいと考えている。

訪問・通所介護サービスの  
移行状況は

〈介護保険事業特別会計〉

**問** 平成28年度は、年度途中に要支援1、2の訪問介護・通所介護サービスが地域支援事業に移行されたが、現時点での全体的な移行状況及び財源面での現状について問う。

移行は順調に進んでいる  
国からの財源確保が重要

**答** 現在、新しい総合事業への移行があっても、改めて事業所の変更をする必要や、金額の変更もないため、特に問題はなく、移行については順調に進んでいると考えている。財源面については、国が要支援1、2の部分をできる限り基礎自治体に任せようという流れになっているため、いかに国の資金を、介護予防事業の拡充に投入してもらうかが重要になってくると考えている。元気なお年寄りがふえるよう、介護予防事業に力を入れていくことは、基礎自治体

の役割として非常に重要であり、国の予算をとれるような新しい本市の制度を構築するため、今後も検討を進めていく。

五月丘保育所の民営化  
事業者選考で考慮した点は

〈一般会計〉

**問** 五月丘保育所の移設・民営化に向けた運営事業者の選考に当たり、保護者の意見など、考慮した点はあるのか。

また、民営化に伴って労働環境が悪化し、保育士不足を招く恐れはないのか。

運営している施設を視察  
保護者への説明会も開催

**答** 運営事業者の選考に当たっては、選考委員会委員に保護者の代表者を選任するとともに、選考対象の事業者が運営している施設への現地視察や、プレゼンテーションを実施して慎重に審査を行った。さらに、担当職員と事業者も出席して保護者への説明会を開催するなど、細心の注意を払った。

また、事業者の応募要件に、現在保育所で働いている臨時職員の再雇用も条件に入れており、保育士確保にも努めている。



## 土木消防委員会

10月13日  
開催

### 水道料金の改定について 今後の見通しは

《水道事業会計》

**問** 現在、上下水道経営審議会において、水道料金の改定が審議されているが、水道事業収益が好調であるならば、値上げをせずに市民に還元すべきであると考えます。収益を大きく左右する大口利用者の動向を踏まえた今後の見通しについて問う。

### 大口利用者の 利用の推移を見極め検討

**答** 水道料金の改定については、中長期的な展望を視野に入れ、適宜適切に見直しを検討し、急激な値上げは避けるべきと考えている。現在の料金体系は、水道使用量が増加するにつれて、単価が増加する逓増制を採用しているため、大口利用者の水道料金が利益に大きく貢献しており、当分は堅調に推移するものと予測している。今後大口利用者の利用の推移を見極めながら、料金改定については検討していきたい。

### 今後の料金改定についての 見解は

《公共下水道事業会計》

**問** 平成29年3月の予算委員会では、上下水道事業管理者より、平成25年に開催された上下水道事業経営審議会の答申の中で、料金改定については平成29年度に再度経営審議会を開催し、最終判断を行う計画との答弁があった。しかし、平成28年度に純利益が増加する中で、下水道使用料を値上げすることについては使用者の理解を得られないと考えているが、今後の料金改定における見解を問う。

### 経営審議会の答申を尊重し 最終的な判断を行う

**答** 料金改定については、単に下水道使用料の値上げという形で、収支を改善し、市民に負担を強いるのではなく、業務の効率化、経費の削減を図りながら、事業経営を進めていくことが第一義的であると考えている。

平成29年度開催している経営審議会においては、4年前に開催した経営審議会当時と現在の財政予測の変化や将来展望も含めて委員に詳しく説明し、協議いただきたい。今後の審議会の答申を尊重し、最終的な判断を行いたい。

### 消防指令センターの 今後の見通しは

《一般会計》

**問** 平成27年4月より豊中市と共同で運営されている消防指令センターは、現在大きな問題もなく、運営費の負担面でも安定してきていると認識しているが、今後の見通しや計画について問う。

### より効果的・効率的な 人事配置を検討

**答** 現在、池田市から7名の消防職員が派遣されており、問題なく安定した運用ができており、災害発生時には両市の職員が一致団結し、災害対応にあたっている。また、来年の3月には共同運営開始から3年が経過するため、より効果的、効率的な共同運営を念頭に置いた人事配置の検討が必要であると考えている。

### 羽田達也議員に対し 3度目の辞職勧告決議を可決

7名の解職請求代表者を初め、リコール署名にご協力いただきました市民の皆様にお礼申し上げます。残念ながら、住民投票には至りませんでした。約2万2千人の声を受け、12月定例会において、3度目の辞職勧告決議を全会一致で可決しました。

## やまばと

新年あけまして  
おめでと〜っ♡います

市民の皆様へは日頃から市議会へのご理解とご協力、ご意見を賜り、誠にありがとうございます。昨年10月には、念願だったウォンパットの新しい仲間3頭が加わり、愛称も決定いたしました。

また、今秋放映予定のNHKの朝ドラは、日清食品創業者・安藤百福夫妻がモデルの物語です。2003年放送の「てるてる家族」に続き本市が舞台となることから市内の撮影も実施され、ますます観光振興も活気づくと思われまします。しかしながら、昨年末には羽田議員に対する解職請求が行なわれる等、議員の資質を問われる1年でもありました。本件を契機に、市議会の権限と意義・役割をなお一層強く考える思いであります。本年も委員一同、市議会の審議内容をわかりやすくお伝えできるよう編集に努めます。どうぞ、ご愛読いただけますようよろしくお願い申し上げます。

市議会だより編集特別委員会

委員長	三宅 正起
副委員長	藤原美知子
委員	荒木 眞澄
委員	倉田 晃
委員	石田 隆史
委員	前田 敏
委員	細井 馨